

環境厚生委員長報告

令和8年2月定例会

環境厚生委員長報告をいたします。

環境厚生委員会に付託されました議案の審査結果等について報告いたします。

本委員会に付託されました議案は、「島根県手数料条例の一部を改正する条例」など条例案7件、「権利の放棄について」など一般事件案2件、「令和8年度島根県一般会計予算」など予算案10件であります。

これらの議案について、執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました結果、第38号議案「島根県国民健康保険条例の一部を改正する条例」の条例案1件、第3号議案「令和8年度島根県一般会計予算」、第9号議案「令和8年度島根県国民健康保険特別会計予算」及び第17号議案「令和8年度島根県病院事業会計予算」の予算案3件については賛成多数により、また、その他の議案については全会一致をもって、原案どおり可決・承認すべきとの審査結果でありました。

全会一致とならなかった議案のうち、主なものについて報告します。

第3号議案については、人権課題は多岐にわたっており、同和問題に特化した対策事業は終結すべきである。また、診療報酬や介護報酬が増額改定されるものの物価上昇に見合ったものではなく不十分であるため、現場の実態をしっかりと把握し県として独自の対策をとるべきとの理由から反対であるとの意見がありました。

また、第38号議案については、子ども・子育て支援金を住民負担として保険料に上乗せ徴収するべきではないとの理由から反対であるとの意見がありました。

議論を経て、最終的には挙手による採決を行ったところ、いずれの議案も賛成多数により、原案どおり可決すべきとの審査結果でありました。

次に、議案の審査過程における執行部からの説明、委員からの質疑、意見等のうち主なものについて報告いたします。

まず、第3号議案「令和8年度島根県一般会計予算」のうち、環境生活部所管分についてであります。

「国民スポーツ大会競技力向上対策事業」について、委員から、国民スポーツ大会後も競技が地域で定着するための取組について質問があり、執行部からは、中学校に部活動がない競技について中学生が参加するクラブへの活動費の支援など、地域定着に向けた取組が着実に進んでいるとの回答がありました。

また、「多文化共生推進事業」について、委員から、外国人住民が円滑にコミュニケーションをとることができるよう、翻訳機器などの導入支援や日本語教室への支援を行ってほしいとの意見があり、執行部からは、無料の翻訳アプリが普及しているため、翻訳機器導入への支援は考えていないが、日本語教室には、ボランティア保険に対する助成のほか教材提供やしまね国際センターの日本語教師派遣などの支援を行っているとの回答がありました。

次に、健康福祉部所管分についてであります。

委員から、看護師確保対策について質問があり、執行部からは、患者の高齢化等により業務負担が増えていることから、病院の看護 DX の取組を支援し、離職防止を図っていくとの回答がありました。また、別の委員からは、医療機関の薬剤師確保対策について質問があり、執行部からは、薬剤師奨学金返還助成事業において、令和 8 年度より医療機関に就業する薬剤師に対する助成を拡充するとの回答がありました。

次に、報告事項など所管事項調査における質疑、意見等のうち主なものについて申し上げます。

健康福祉部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「訪問入浴介護事業所の人員基準欠如への対応について」では、委員から、国が定める基準を一部満たしていなくても、一定水準を満たすサービスとして保険者が認める「基準該当サービス」として対応する方法がある。利用者に不利益が生じないように、こうした方法などについて保険者への周知を徹底してほしいとの意見がありました。

また、「令和 7 年度ひきこもり等に関する実態調査結果について」では、委員から、今回の調査結果を踏まえた対応について質問があり、執行部からは、調査結果を市町村に提供するほか、市町村や保健所等関係機関との会議において、取組状況や今後の支援について意見交換を行い、支援体制の強化を図りたいとの回答がありました。

また、委員から、放課後は家庭と学校の間にある重要な時間であり、放課後児童クラブは子どもたちにとって重要な居場所となっていることから、安定した運営がなされなければならないとの意見がありました。こうした意見を踏まえ、当委員会としても、十分な支援員体制と処遇の改善、開設・運営しやすい支援制度の充実、施設立地を考慮した支援制度、及び近年の物価高騰への対応を国に対して要望すべきとの結論に至り、全会一致をもって意見書を提出すべきとの結果でありました。

なお、この意見書については、後ほど岸議員から提案理由を説明いたしますので、ご賛同いただきますようお願いいたします。

以上、環境厚生委員会における審査の概要等を申し述べ、委員長報告といたします。